

博士後期課程

総合創成工学専攻 カリキュラム・マップ (2022年度以降入学生)

科目区分	授 業 科 目	DP(a)	DP(b)	DP(c)
実践科目	長期インターンシップ		○	○
	知的財産—特許コース特論—			○
	企業戦略概論			○
	国際化戦略とオープンイノベーション			○
	技術開発のロードマップ			○
	OTT (On the Tutorial Training)		○	○
	グローバル市場探索演習		○	○
	プロジェクトインキュベーション経験プログラム		○	○
	OCT (On the Consulting Training)		○	○
	海外特別講義・演習 I	○		
	海外特別講義・演習 II	○		
	海外研究プレゼンテーション・討論 I	○		○
	海外研究プレゼンテーション・討論 II	○		○
	海外文化・生活・コミュニケーション I			○
	海外文化・生活・コミュニケーション II			○
	海外技術経営論			○
	海外企業インターンシップ		○	○
	創造システムデザイン		○	○
	P B L		○	○
	大学院海外短期インターンシップ A			○
大学院海外短期インターンシップ B			○	
討論形式	専門技術と社会 I	○		○
	専門技術と社会 II	○		○
	専門技術と社会 III	○		○
専門科目	数理物理学特論	○		
	量子物理学特論	○		
	電磁物理学特論	○		
	凝縮系物理学特論	○		
	物理工学特論	○		
	無機ファイン材料特論	○		
	有機分子設計特論	○		
	機能性高分子工学特論	○		
	高分子材料設計特論	○		
	分子工学基礎論	○		
	高分子科学特論	○		
	応用生命工学特論	○		
	生命・環境解析化学特論	○		
	細胞分子生物学特論	○		
微生物資源特論	○			

科目区分	授 業 科 目	DP(a)	DP(b)	DP(c)
専 門 科 目	機械ダイナミクス特論	○		
	熱流体工学特論	○		
	システム制御特論	○		
	ロボット制御特論	○		
	機能創成工学特論	○		
	計算機構成・ソフトウェア科学工学特論I	○		
	計算機構成・ソフトウェア科学工学特論II	○		
	認知情報・ヒューマンインタフェース特論I	○		
	認知情報・ヒューマンインタフェース特論II	○		
	電子システム特論 I	○		
	電子システム特論 II	○		
	電子システム特論 III	○		
	電子システム特論 IV	○		
	建築構造システム特論	○		
	住基盤防災特論	○		
	建築都市快適論	○		
	建築都市システム特論	○		
	繊維機能科学特論	○		
	繊維・高分子材料科学特論	○		
	テキスタイル・高分子成形加工工学特論	○		
	バイオメテック工学特論	○		
	エネルギー安全工学特論 I	○		
	エネルギー安全工学特論 II	○		
原子力工学特論 I	○			
原子力工学特論 II	○			
研 究 ゼ ミ	主専門研究ゼミナール I	○	○	
	主専門研究ゼミナール II	○	○	
	副専門研究ゼミナール		○	

博士後期課程 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士後期課程総合創成工学専攻では、学生が知識・能力等に係る以下の目標に到達しているとともにそれらを課題の解決において活用・実践できることを学位授与の方針とします。この方針は、国際技術研究者育成コース（GEP for R&D）にも適用します。

- (a) 物理工学，分子工学，生物応用化学，機械・システム工学，知識情報システム，電子システム，建築都市システム，繊維先端工学，原子力・エネルギー安全工学のいずれかの分野において中核的人材として活躍するために必要となる高度な専門的知識・能力，専門に関連した幅広い基礎知識，ならびに研究推進に必要な技法を有している。
- (b) 広い視野に立って課題を設定し，研究開発活動を独力で推進できる能力を有している。
- (c) 高度専門技術者・研究者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展をリードできる。